

年
首減 27
15
39

政治 4 国際 6 7
経済 8 9 教育 15
家庭 16 18 小説 16
文化 23 スポーツ 24 25
商況 12 13 基・将棋 6
北海道 31 32 33 34 35
*解説面休みしました。

発行所 読売新聞北海道支社 〒060-8656 札幌市中央区北4西4-1 電話(011)242-3111(代) www.yomiuri.co.jp

職のない古里 帰れぬ



東日本大震災の被災地で人口流出が止まらない。宮城、岩手の沿岸24市町村は今年1月現在、震災前と比べて3万5000人余も減った。死者・行方不明者を含めると約5万人に達する。減少率は最も高い宮城県女川町で22%。岩手県大槌町20%、宮城県山元町18%と続く。震災から手もななく2年人口流出だけでなく、産業復旧の遅れや放射性物質の除染など、被災地がいま直面する様々な課題から復興への針路を探る。

復興は
いま

震災2年 3万5000人流出

宮城・岩手24市町村

「稼げる仕事さえあれば古里に戻りたかった……」。大槌町赤浜にあった新築の自宅を津波で流された吉田久人さん33が、アパートの居間でつぶやいた。震災直後、内陸に70キロ離れた岩手県花巻市に移り、一家5人で暮らしている。

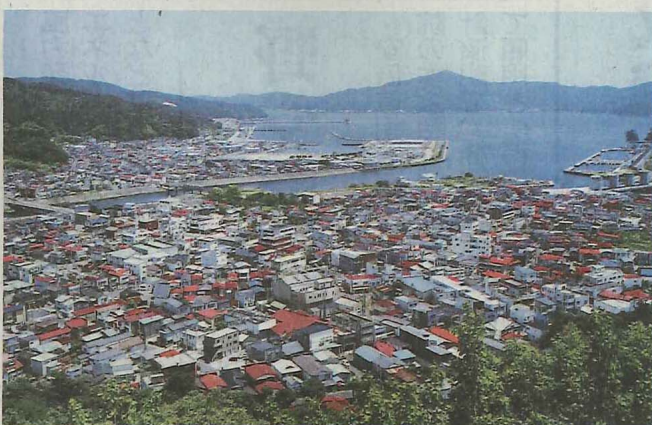
収入が不安定な遠洋漁業の船員だったが、花巻で妻大槌町の52%が浸水した調査によると、水産加工工場など事業所の減少率は7割を超え、被災3県の市町村で最大の雇用を受け皿が大きく損なわれた。

20%という人口減少率について、町が調査したところ、住民票を残したまま町外で暮らす人を含めた場合は26%にも達することが分かった。町民の4割にあ

たというも、駅を移転して運転を再開できるのは早くて4年後。仙台駅から約40分という「仙台のベッドタウン」だった同町だが、その利便性が失われた今、人口は震災前から18%減の1万3600人となった。これは、町が震災後に将来の人口減を推計した2018年の水準と同程度。すでに5年も減少のスピードが速い。993人いた住民が64人にまで激減した中浜地区の区長、磯部正一さん(71)は言う。「人口流出が続けば、復興計画は絵に描いた餅になる」



現在の岩手県大槌町中心部(2月25日) 武蔵野撮影 東日本大震災前の町並み(2008年6月) 藤枝さんの写真集「大槌夢」から



手として働き始めた。3歳になる長男、病気がちの両親を抱え、住宅ローン2000万円が残っている。妻の収入にも頼らざるを得ないが、沿岸部では女性の仕事が少ない。大槌には両親が通える病院も少なく、このまま花巻に根を下ろすつもりだ。

市街地の52%が浸水した調査によると、水産加工工場など事業所の減少率は7割を超え、被災3県の市町村で最大の雇用を受け皿が大きく損なわれた。20%という人口減少率について、町が調査したところ、住民票を残したまま町外で暮らす人を含めた場合は26%にも達することが分かった。

町民の4割にあたる4900人は、まだ手狭な仮設住宅などの暮らしを余儀なくされている。町は高台を造成するなど、被災者の住宅確保を最優先課題に掲げており、雇用回復のための企業誘致には、ほとんど手が回らない。避難先の学校に慣れた子供のために決意を込めた住民もいる。磯川豊町長(61)は「残念だが、人口流出は食い止める特効薬はない」と将来像を示す。森傑・北海道大学教授(都市計画の話)は「市計画の話はできるの事ではない古里に『居続けろ』というのは酷な話だ。被災者は、先行きが見えない事業や計画を手がかりに将来の見通しの立たないまま2年もの間、不自由な避難先で過すことを強いられる。自治体は、魅力ある将来像を描くのはもちろん、その実現性をもっと具体的に示すことが必要だ」

加齢黄斑変性 黄斑は網膜の中央にある直径約2ミリ程度の部位。老化でここに異常が生じると、視界の中央がぼやけたり、黒く欠けたりする。国内の患者は推計約70万人。の細胞シート(長さ3ミリ、幅1.3ミリ)に加工する。傷んだ網膜の一部を取り除

め、移植が始まるのは14年以降とみられる。網膜の再生治療では、米バイオ企業が昨年1月、ES細胞(胚性幹細胞)から作った網膜細胞で、患者2人の治療に成功したと報告した。ただ、ES細胞は受精卵を壊して作るため、倫理上の問題がある。申請について山中教授は

ポケモン 探せ/モンスター 4文字熟語

首相の施政方針演説 2月10日

「損」を「益」にする人がいる。すべからずではない。江戸期(1600-1868)で学者、貝原益軒で